

鳥居本宿

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

鳥居本宿（とりいもとじゅく）は近江国坂田郡にあった中山道の63番目の宿場で、現在は滋賀県彦根市鳥居本町。

本陣は寺村家が務め、脇本陣と問屋は高橋家が務めた。本陣や脇本陣の建物こそ現存しないが、随所に重厚な家屋が残り、宿場の雰囲気が残されている。

鳥居本宿から朝鮮人街道^[1]が分岐した。



木曾街道六拾九次 鳥居本（歌川広重）画

目次

特徴

最寄り駅

史跡・みどころ

隣の宿

参考文献

脚注

外部リンク

関連項目

特徴

本陣寺村家は合計201帖もある広い屋敷であった。

文政12年（1829年）から天保12年（1841年）までの『寺村家大福帳』によると、本陣宿泊客の状況は、13年間に161回3,594名が宿泊している。1年間の利用回数にばらつきがあるが、平均で年間利用回数12.4回、1回の平均利用者数22.3名であった。また1回の利用者数の最多は80名、最小は2名で、実際は50 - 60名がその収容限度であった。参勤交代の大名の供揃のように200 - 300名に達すると、全員を本陣に収容することはできず、多い時には156軒の下宿が必要になった。

また、天保14年（1843年）の『中山道宿村大概帳』によれば、鳥居本宿の長さは小野村境から下矢倉村まで13町（約1.4 km）、宿高115石、鳥居本宿の宿内家数は293軒、うち本陣1軒、脇本陣2軒、問屋場1軒、旅籠35軒で宿内人口は1,448人であった。

鳥居本宿は、安芸広島藩・筑前久留米藩・紀伊和歌山藩・阿波徳島藩・出雲松江藩・長門萩藩・美作津山藩・伊予松山藩などが利用しており、下宿を利用する大通行が年間数回ずつあった。

最寄り駅

- [近江鉄道本線](#) [鳥居本駅](#)

史跡・みどころ

- [赤玉神教丸本舗](#)（[有川製薬](#)）
- [本陣寺村家跡](#)
- 「[本家合羽所](#)」看板

高宮宿までの史跡・みどころ

- [ひるね塚](#)
- [床の山](#)
- [扇塚](#)

隣の宿

中山道

[番場宿](#) - [鳥居本宿](#) - [高宮宿](#)

参考文献

- [児玉幸多](#) 『[中山道を歩く](#)』 [中公文庫](#)、1988年 [ISBN 4122015561](#)

脚注

- ↑ [朝鮮通信使](#)に通行が認められていたためこの名がある。

外部リンク

- [中山道・鳥居本宿場町](http://www.city.hikone.shiga.jp/0000002278.html) (<http://www.city.hikone.shiga.jp/0000002278.html>) - [彦根市](#) > [観光ガイド](#) > [中山道宿場街](#)（2016年6月13日）2018年5月29日閲覧
- [旧鳥居本宿](https://www.biwako-visitors.jp/spot/detail/915) (<https://www.biwako-visitors.jp/spot/detail/915>) - [公益社団法人びわこビジターズビューロー](#) > [滋賀県観光情報](#)（最終更新日：2015年7月2日）2018年5月29日閲覧

関連項目

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=鳥居本宿&oldid=81688877>」から取得

最終更新 2021年2月5日 (金) 13:22（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。